

日光白根山山行報告

【山城】 奥日光・白根山

【日程と天気】 2017年8月6日（日）晴れ、遅くなって曇り

【メンバー】 CL 菊池・会員外1名

【行程】 千葉 3:30—沼田—丸沼スキー場—ゴンドラ山頂駅（1990m）8:20—白根山山頂（2577m）—避難小屋—五色沼—弥陀ヶ池—15:30 ゴンドラ山頂駅—日光—帰葉



・1995年秋、百名山踏破を目指していた時に、菅沼駐車場から山頂、五色沼、金精峠経由で下山する周回コースで訪れて以来2回目である。今回は丸沼スキー場のゴンドラ山頂駅（1990m）から入山した。鬱蒼とした針葉樹林の整備された登山道はやがて急斜面をトラバース状に高度を上げていく。やがて斜度が緩み、森林限界に達すると山頂の迫力ある眺望



が目に飛び込んできた。しばし休憩の後、脇にお花の咲いている火山特有のガレた登りにくい斜面を登って行くと、山頂付近では迫力のある岩山の景観が楽しめる。不安定な天気が続いており、盛夏の登山シーズンなのに、いまいち盛り上がりがなかった2017年の夏であったが、漸く晴れベースになり、8月第一週の日曜日でもあり、多くのハイカーで山頂は賑わっていた。



岩場を慎重に登るとやや狭い一等三角点のある山頂であり、順番に記念撮影をした。山頂付近はガスが湧いており、迫力の岩場の隙間から下方にコバルトブルーの五色沼が見え隠れする。



・避難小屋から五色沼に向かう稜線歩きは快適であり、五色沼の全景を捕らえられるところで、撮影した。やがてガレ場のやや急斜面を左に下るようになりがその手前の右斜面に



はコマクサの群落があった。ガレた急斜面は標高差 200m ほど、浮石に足を取られないように慎重に下る。左右の斜面にはフウロやマルバダケブキのお花畑である。やがてコバルトブルーの五色沼も見え、気分の良い下りである。マルバダケブキに舞っているアサギマダラをショットに収め、これまた満足であった。



・五色沼に到着すると、広い湖畔はオアシスであり、次から次へとハイカーが到着し、休憩していた。昼寝としゃれこんでいるグループもあり、つい我々も昼寝したい気持ちにかられたが、鈍足の老体であまりゆっくりしているわけにもいかない。



しばらく行動食休憩、景色や湖畔の可憐な花に癒され、弥陀ヶ池に向かった。下山は座禅山の脇を通る登山道を選択、整備された登山道（階段が多い）は歩きやすく、ガスで視界不良となるころ、ゴンドラ山頂駅近くの、二荒山神社でお参りをした。



- ・帰葉は金精峠、戦場ヶ原、日光経由にしたが、奥日光付近は一時ゲリラ豪雨の様相を呈し、日光宇都宮道路ではバケツをひっくり返すような激しい雨に、助手席からビビりながら運転手に注意を促していた。
- ・ゴンドラ利用で、気軽に 2500m 以上の変化に富んだルートを楽しめ、充実した一日であった。

